

2024年度 二松学舎大学 日本漢学研究センター主催公開講座

2024年度日本漢学研究センターが主催する公開講座は、日本漢学研究又は漢文文献の調査・整理に関心を持つ若手研究者を育成する講座です。受講対象者は、学内外の大学院生及び院生レベルの若者を主とし、他に一般社会人等にも、演習・講義等を通じて必要な基礎知識と技能を身につけていただくことを目的としています。

◆受講料： 無 料 ◆対 象 者： 学生、研究者、教員、図書館員及び一般の方 ◆会 場： 本学九段校舎

◆応募締切等： 4月3日〔受講許可の選考を行います〕

◆申込・問い合わせ先： 二松学舎大学 東アジア学術総合研究所 日本漢学研究センター 〒102-0074 東京都千代田区九段南2-4-14
Tel: 03-3261-3535 Fax: 03-3261-3536 e-mail: kangaku@nishogakusha-u.ac.jp URL: <https://www.nishogakusha-u.ac.jp/eastasia/>

講 座 名			内 容	講 師	所 属	曜日・時限	募集人員
演 習 講 座	1	古文書解読講座	江戸～明治期の儒者・医者など、漢文に素養のある人々の書簡・日記・書幅などの肉筆資料を中心に読解していく。一般に漢籍と異なり国書では書写資料の占める割合が高く、ことに江戸～明治期の漢詩漢文は同好者間に小部数流通した場合が多く、この分野を扱う以上、書写資料の読解は避けて通れない。多くの資料に触れて、当時の書体・用字・用語に習熟して欲しい。	町 泉寿郎	本学文学部 教授	火曜日 6時限	10
	2	序文解読講座	明治時代に行われた文化交流の形式の一つとして、ユニークな役割を果たした序跋が挙げられる。それは、筆談資料と共に注目的となっている。本講義は、清国人が明治時代の日本人の著作のために寄せた序文・跋文（漢文）を広く集めて一緒に読解していく。序文の内容と書写の特徴に習熟すると同時に、文献整理や読解の力を高め、明治時代における日中交流の実態に迫りたい。	王 宝平	本学文学部 教授	水曜日 3時限	10
	3	『天道溯原』解読	日本や中国の近代化は、好むと好まざるとに拘わらず、西欧化という道をたどらざるを得なかったが、輸入しようとする西欧近代文明には日本や中国が禁教としてきたキリスト教が必ず付随していた。これを排除するのか、あるいは受容するのか。逆に言えば、宣教師たちはどのようにアジアにキリスト教を再度もたらそうとしたのだろうか。新島襄や山本覚馬も読んだという『天道溯原』を解読しながら、アジア近代化とキリスト教再渡来の影響を考えてみたい。	中村 聡	本学文学研究科 非常勤講師	木曜日 3時限	10

注）1. 開講時間 3時限：13:00～14:30 6時限：18:20～19:50

2. 前期・後期 前期： 4/10～7/30 後期： 9/12～1/20